

令和2年(2020年)5月11日(月)

公益財団法人広島平和文化センター

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 副館長：大瀬戸

電話：543-6271

担当：橋本

## 詩人・小説家、原民喜の遺影が登録されました

### 1 登録された原爆死没者

原民喜(1908-1951)は、広島で被爆した体験を詩や小説の作品に残しました。彼は1945年1月、千葉から広島市熾町の生家へ疎開し自宅で被爆、その後、生き残った家族と共に広島西部の八幡村(現在の広島市佐伯区)へ避難しました。

被爆当日の8月6日は縮景園から対岸へ渡り一夜を明かし、翌7日、東照宮の避難所で姪を保護した後、長男、次兄の家族、妹らと共に、白島、国泰寺、住吉橋、己斐を経て、夜遅くに八幡村へ到着しました。このルートを辿った結果、彼は市内の被爆状況を一覧することになりました。

原民喜は被爆直後に「このことを書きのこさねばならない」と思い立ち、克明に被害状況を記録した小説「夏の花」を著し、原爆による惨状を、「これは精密巧緻な方法で実現された新地獄に違ひなく」と表現したのです。この作品は、小説「廢墟から」、「壊滅の序曲」と共に“夏の花三部作”と称されています。彼は他にも「原爆小景」等、被爆体験を詩に残しました。

### 2 遺影の提供者

原 時彦氏 原 民喜氏の甥

### 3 遺影の提供について

登録された遺影をデータ(JPEG)にて提供できます。

提供者：国立広島原爆死没者追悼平和祈念館



原 民喜 (1908-1951)